

## あんしんすまいパックの見直しについて

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援制度として平成31年1月より「あんしんすまいパック」を創設し、周知及び利用促進をはかってきた。しかし、現在まで利用が進まないことから、令和3年度に向けサービス内容等の検証を進め、以下のとおりサービスの見直し、拡充を検討する。

### 1 現在のサービス

#### (1) 目的

民間賃貸住宅のオーナーの不安を軽減させ、住宅確保要配慮者(単身者)の円滑な入居を支援する。

#### (2) 利用要件

年齢制限なし。前年の所得が256万8千円以下の方は初回登録料の補助あり。

#### (3) サービス内容

- ①見守りサービス(週2回の自動音声アナウンスによる安否確認電話)
- ②利用者が亡くなった際の葬儀費用補填(上限50万円)
- ③利用者が亡くなった際の残存家財片付け及び原状回復費補填(②と合計で100万円)

#### (4) サービス利用料金

- 初回登録料(税込) 16,500円(区による補助)
- 月額利用料(税込) 1,980円(利用者本人負担)

### 2 課題

#### (1) 利用者

安価なサービスが欲しい/ニーズにあった安否確認がほしい/緊急連絡先を引き受けてくれる人がいない

#### (2) 民間賃貸住宅のオーナー

残存家財片付けや原状回復費用の補填を手厚くして欲しい

#### (3) 不動産業者

サービスの選択肢がないため、お勧めしづらい/葬儀費用の補償に関するニーズが少ない

#### (4) サービス提供会社

詐欺電話等の社会問題により電話での安否確認がとりづらい

### 3 見直しの方向性

以下の内容を考慮し、多様なニーズに対応できる複数のサービス展開を検討する。

#### (1) 見守りサービスの拡充

電話での自動音声アナウンスによる安否確認だけでなく、コールセンターからサービス加入者へ直接電話して安否を確認する方法や、電球に内蔵されたセンサーによる安否確認も導入する。なお、安否確認ができなかった場合は、緊急連絡先へのメールや電話連絡だけでなく、緊急対応として警備会社を派遣する方法も導入する。

#### (2) 補償内容について

ニーズの多い残存家財及び原状回復費用の補填額の上限枠を増やす一方で、ニーズの少ない葬儀費用については補償から除く。

#### (3) サービス月額利用料について

サービス内容に合わせた月額利用料を設定する。(1,500円～3,000円程度)